

食べる喜びを支える歯科医療のためのデンチャースペース義歯

CONTENTS

刊行にあたって	3
---------	---

第Ⅰ章 ニュートラルゾーン理論を用いたデンチャースペース義歯

●加藤武彦（神奈川県横浜市・加藤歯科医院）

プロローグ 変革が求められている総義歯臨床	8
1. 私はなぜ、この方法を採用ようになったのか	11
2. それを解決するために	14
3. 私が考えるニュートラルゾーン理論によるデンチャースペース義歯	22
4. 治療用義歯の必要性	25
5. だが、歯科界の現実は	28
6. 難症例への対応	33

第Ⅱ章 機能にマッチした総義歯づくりとその理論

●三木逸郎（兵庫県姫路市・三木歯科医院）

1. 機能する総義歯づくりの決め手とは	40
2. 初診時に患者の信頼を得るには	41
3. 機能にマッチした形態をイメージする	45
4. 誰でも同じようにできるには	55
5. 装着後の変化とその対応（作ってからが本当の義歯づくり）	76
6. 生活支援の装具としての総義歯	83
7. 「難症例」から逃げない、「難症例」を作らない	85

第Ⅲ章 デンチャースペース義歯の作り方

●田中五郎（神奈川県横浜市・田中歯科医院）

1. デンチャースペース義歯製作のコンセプト	90
2. デンチャースペース義歯の製作	92

第IV章 デンチャースペース義歯を歯科技工で実現するために

1. デンチャースペース義歯と歯科技工士とのかかわり
●加藤武彦（神奈川県横浜市・加藤歯科医院） 112
2. デンチャースペース義歯の理論を技工所へ採り入れて
●山本洋一（神奈川県横浜市・株式会社メディナ） 115
3. 歯科技工サイドによるデンチャースペース義歯
●山本洋一（神奈川県横浜市・株式会社メディナ） 118

第V章 顎堤条件の悪い症例の経過

1. 経年経過 16、32、34 年の症例から見えてくること
●加藤武彦（神奈川県横浜市・加藤歯科医院） 130
2. 「筋圧中立帯の理論」で機能回復を図った症例
●三木逸郎（兵庫県姫路市・三木歯科医院） 137
3. 顎堤吸収の左右差が大きい症例と上顎シングルデンチャー症例
●田中五郎（神奈川県横浜市・田中歯科医院） 155

第VI章 総義歯臨床に必要な形態解剖学（生理的運動）

義歯床の形態と口腔周辺の解剖構造

- 北村清一郎（森ノ宮医療大学保健医療学部 大学院 / 保健医療学研究科） 164

第VII章 在宅診療における総義歯治療

1. 「食べるところまで診る往診」に必要な義歯製作理論のすすめ
●加藤武彦（神奈川県横浜市・加藤歯科医院） 176
2. 在宅訪問現場での義歯治療一リハビリの基本設定としての義歯
●大川延也（東京都東大和市・大川歯科医院） 179
3. 訪問歯科診療から学んだ義歯治療
●内藤 敢（北海道中標津町・中標津総合歯科診療所） 188
4. 私の第二の診療室『往診』
●糟谷政治（静岡県浜松市・糟谷歯科医院根上り松診療所） 200
5. 言語聴覚士との連携
●三木逸郎（兵庫県姫路市・三木歯科医院） 210
6. 歯科衛生士との連携
●糟谷政治（静岡県浜松市・糟谷歯科医院根上り松診療所） 222

第VIII章 これからの未来を見据えて

人が生きていくうえでよく噛んで食べる（咀嚼）ことの意義

- 加藤武彦（神奈川県横浜市・加藤歯科医院） 236